

対象クラス	第2学年 ビジネス情報科 選択者	単位数	2
使用教科書	簿記（東京法令）		
使用副教材	合格テキスト・合格トレーニング 日商簿記3級(TAC出版)、日商簿記3級問題集(実教)		

「簿記」とはこんな科目です。

企業は従業員の給料の支払い、備品の購入、商品の仕入れや売り上げなど様々な活動をしています。これ他の企業活動のすべてを数字に置き換えて帳簿に記入・計算し、わかりやすくまとめて、企業や企業の関係者に会計情報として提供します。この会計情報は企業活動の方針を決定し、また取引先にとっても重要な判断材料となります。このような企業で重要な役割を果たしている簿記の一連の流れを学習しましょう。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得します。 ・簿記の基本的な仕組みについて理解します。
- ・会計帳簿や財務諸表作成を通してビジネスの様々な活動を理解します。 ・日商簿記検定3級合格を目指します。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	簿記に関する理論的な知識と技術を身に付けている。更に実務との関連性を理解し、ビジネスのさまざまな場面で有効に利用することができる知識と技術を身に付けている。	・宿題 問題集 ノート ・プリントの提出 ・小テスト 単元テスト 定期考査 ・検定の成績
思考・判断・表現	3	実務に即した学習活動及び取引の記録と財務諸表の作成の方法について、考察や討論を行う学習活動を通して、理論に裏付けされた適正な取引の記録と財務諸表の作成ができる。また会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、ビジネスでの簿記の有用性について考察できる。	・宿題 問題集 ノート ・プリントの提出 ・小テスト 単元テスト 定期考査 ・検定の成績
主体的に学習に取り組む態度	3	自ら簿記について学ぶとともに、組織の一員として簿記を行う役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と積極的に関わり、記帳・決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任をもって取り組む態度が身に付いている。	・授業態度 宿題 問題集 ・ノート プリントの提出

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期 中間	第Ⅱ編 各種取引の処理 【前期中間考査】	・現金、預金、小口現金 3分法による商品売買 手形、その他の債権・債務 電子記録債権・電子記録債務、 クレジット売掛金	・1年生で学んだ簿記の基礎を復習し、理解を深めます。 ・企業における日々の取引、活動を仕訳によって正確に処理し、帳簿に記入します。 ・ビジネスにおいて現金だけが対価の支払いではありません。電子記録債権や電子記録債務、クレジット売掛金など、インターネット上の資産・負債について学習します。
前期 期末	【前期期末考査】 各種取引の処理 第Ⅵ編 決算(2)	・有価証券、固定資産、販売費及び 一般管理費 個人企業の純資産、税金に関する 取引の記帳と帳簿の作成 ・決算に関する記帳 貸借対照表・損益計算書の作成	・有価証券の種類や会計処理方法、固定資産の期末評価などについて学習します。 ・企業の費用の種類、財産の種類について学習します。 ・企業も社会の一員として税金を支払います。その税金の記帳について学習します。 ・1年のまとめとして、財政状態と経営成績を明らかにする財務諸表の作成方法を学習します。

後期中間	【後期中間考査】 第Ⅵ編 決算(2) 発展 株式会社会計	<ul style="list-style-type: none"> ・決算に関する記帳 ・株式会社のしくみ、設立 資本金の増加・当期純損益の計上 剰余金の配当及び処分、税務 に関する取引の記帳 	<ul style="list-style-type: none"> ・決算に関する諸帳簿の作成に関する演習を行い、理解を深めます。 ・株式会社のしくみについて学習し、個人企業との資金調達の方法の違い、その記帳法について学習します。 ・決算の結果、確定した当期純損益に関する記帳、剰余金の配当や処分、税金について学習します。
学年末	第Ⅳ編 会計帳簿 第Ⅶ編 会計ソフトウェア 日商簿記検定対策 日商簿記受験 【学年末考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・主要簿、補助簿の作成 ・3伝票制の記帳と仕訳日計表の作成 ・記帳練習問題 ・会計ソフトウェアを利用し、簿記一連の流れを処理 ・日商簿記検定3級問題演習 ・日商簿記検定3級受験 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な帳簿の記帳法や3伝票制についても復習します。 ・1年生から2年生の後期中間までのまとめとして、記帳練習問題で、日々の取引を記帳し、帳簿に記入し、決算を行い、財務諸表を作成する一連の流れを理解します。 ・日々の取引の記帳から、決算までの簿記一連の流れを会計ソフトウェアで処理し、利用できることを学習します。 ・個人企業との違いを考えながら、株式会社の財務諸表を作成します。その財務諸表が企業や企業の関係者に有用な会計情報であることを学習します。 ・日商簿記検定3級合格を目指します。